

2023年6月22日

各位

東京都千代田区内神田二丁目12番5号
株式会社ビーマップ
代表取締役社長 杉野 文則
(東証グロース: 4316)
問合せ先: 取締役経営管理部長 大谷 英也
(電話 03-5297-2181)

上場維持基準の適合に向けた計画の進捗状況及び適合計画の一部変更について

当社は、2021年12月3日に、「グロース市場の上場維持基準への適合に向けた計画書」(以下「適合計画」)を提出し、その内容について開示しております。

2023年3月末時点における適合計画の進捗状況等について、下記の通り作成しましたので、お知らせいたします。また、先般5月30日付にて、中期計画(事業計画及び成長可能性に関する事項)を公表させていただきましたが、従来の適合計画の前提についても見直しを行っていることから、適合計画を変更するとともに、計画期間についても1年延伸することといたします。

記

1. 当社の上場維持基準への適合状況の推移及び計画期間

当社の2023年3月末時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、その推移を含め、以下のとおりとなっており、「時価総額」については基準を充たしておらず、経過措置の提供を受けております。

		流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の適合状況及びその推移	2021年6月30日時点 (移行基準日)	29,563単位	18.7億円	91.6%	20.4億円
	2023年3月31日時点※	29,773単位	14.0億円	92.0%	15.2億円
上場維持基準		1,000単位以上	5億円以上	25%以上	40億円以上
適合状況		適合	適合	適合	非適合
当初の計画に記載した計画期間		—	—	—	2025年3月末
変更後の計画期間		—	—	—	2026年3月末

※当社の適合状況は、東証が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組実施状況及び評価 (2021年12月~2023年3月)

時価総額について

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

<従来の計画の骨子>

- | |
|------------------------------|
| ① 中期経営計画の推進、的確なアップデートによる業績向上 |
| ② I Rを含む企業情報の積極的な発信 |

<取り組み状況>

- ① 中期経営計画の推進、的確なアップデートによる業績向上

2021年12月現在における中期計画の数値目標とこれまでの実績は以下の通りです。残念ながら計画との大きな差異が生じており、本計画を達成できておりません。

	2022年3月期		2023年3月期		2024年3月期	2025年3月期
	計画	実績	計画	実績	計画	計画
売上高	1,350	1,021	1,450	1,042	1,600	未定
・ワイヤレス・イノベーション	900	630	940	645	1,000	
・モビリティ・イノベーション	150	106	190	75	240	
・ソリューション	300	284	320	320	360	
営業利益	50	-144	70	-181	90	未定
経常利益	60	-148	80	-188	100	未定
当期純利益	40	-155	60	-224	70	未定

具体的な各事業の進捗・営業状況については、2023年5月30日に公表した中期計画（事業計画及び成長可能性に関する事項）と同5月12日に公表した2023年3月期決算短信をご参照下さい。

既に2期連続して計画を下回って損失を計上し利益剰余金のマイナスが3.8億円増加し、期間内に解消の目処を立てる目標の達成が至難になっていること、2023年1月に子会社化した株式会社MMSマーケティングがソリューション事業分野の今後の数値を押し上げる可能性があること、を考慮し、前提とする中期計画も見直しを行いました。

- ② I Rを含む企業情報の積極的な発信

取り組み	実績	
I R発信	計画内	機関投資家向け説明会 →コロナ禍により個別ミーティングにて対応中 個人投資家向け説明会 →未実施だが、株主総会のWEB配信に対応済
	計画外	事業本部内に広報専任者を設置し、事業内容のリリース・メルマガ配信強化、メディアへの対応を実施。
当社独自のチャンネル	計画内	SNSでの情報配信を開始。週1回以上の投稿を継続しているが、取引・採用関係での閲覧が主と思われる。 フォロワー：Instagram453 Twitter47

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

取り組みは進めているものの、計画した成果は上げていない状況です。

③ 株主還元策

進捗ありません。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまで状況を踏えた今後の課題と取組内容

時価総額について

(1) 計画期間の変更

先般、2023年1月に子会社化した株式会社MMSマーケティングがソリューション事業分野の今後の数値を押し上げる可能性があることなどから、中期計画の大幅な見直しを行いました。これを踏まえて同計画の終期である2026年3月までを、新たな適合計画の計画期間といたします。

(2) 計画内容の変更

① 中期経営計画の推進、的確なアップデートによる業績向上

新たな中期計画における各事業分野での主要な取り組みは以下の通りです。

- ・ ワイヤレス・イノベーション事業分野においては、主要顧客であるNTTBP等通信事業者とのビジネスを継続しつつ、多様な無線規格に対応
- ・ モビリティ・イノベーション事業分野においては、私鉄等の鉄道アプリへの技術協力を継続し、送客・発券ビジネスの新規構築
- ・ ソリューション事業分野においては、子会社と共同して新規分野であるアパらくWi-Fi、MMS・02020を中心に事業拡大

売上高の見通しについては、ワイヤレス・イノベーション、子会社を含めたソリューションの二分野が中心となる見通しを立てており、原価については売上規模の拡大に伴う漸減、販管費については、若干の人員増に伴う微増を想定しております。

これらの取り組みの詳細は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照ください。

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
	実績	計画	計画	計画
売上高	1,042	1,800	1,900	2,000
・ワイヤレス・イノベーション	645	780	800	820
・モビリティ・イノベーション	75	120	150	180
・ソリューション	320	900	950	1,000
(うちMMSマーケティング)	(-)	(450)	(475)	(500)
営業利益	-181	10	50	100
経常利益	-188	10	50	100
当期純利益	-224	10	30	60

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

② IRを含む企業情報の積極的な発信

コロナ禍の収束に伴い各種説明会の開催を再開し、SNSの継続的発信を通じて当社の理解を深めていただく努力を行います。

以上

(注意) 本資料で開示されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。